

奈弓連だより

通巻 263号

令和6年1月号
発行 奈良県弓道連盟
会長 西中 正
編集担当 松澤和実 中西省五
連絡先：henshu@narakyudo.jp

会長年頭所感

健康で楽しく弓を引く 感謝と未来を祈念して

奈良県弓道連盟 会長 西中 正

会員の皆さんには、気分新たに新年を迎えられたことと思いますが、元日、早々に能登半島地震のニュースが報道され驚かれたことでしょう。この寒さの中、被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。

弓道関係者からも避難生活を余儀なくされていて「弓を引ける状態でない」との情報も入ってきています。一日も早く、元の生活に戻られる事を願います。

そんな中ですが、奈良県弓道連盟は、4年ぶりに100名を超えての参加で、今年1年、みんなが健康で楽しく弓を引きながら過ごせることを願っての射初会を開催できました。

今年度は役員改選の年であり、射初会の後には臨時評議員会が開催されました。私は、5期10年の間、会長をやらせて頂きましたが、連盟が発展していくには、新しい世代に引き継ぐのがいいかと、次期会長に阪中計夫氏を推挙させて頂き、評議員会によって承認いただきました。



射初会にて

令和13年に奈良県で国民スポーツ大会開催が予定されている中、課題はいろいろあります。全弓連、近畿連合会への参画も必要です。精通している阪中計夫氏を中心に会員各位の協力が必要です。よろしくお祈りします。

私も、今までと違った目線で協力して

まいります。10年間会長としての私を支えて頂きありがとうございました。

皆様が健康に弓を引きながら活動されることを祈念して年頭の挨拶とします。

奈良県弓道連盟 新年射初会

参加者103名、新たな年を迎えて

1月7日(日)に橿原公苑弓道場において、令和6年新年射初会が実施されました。参加制限の無い射初会は4年ぶりに行われました。西中会長の矢渡し(第一介添:白井礼子、第二介添:八木純子)の後、年間表彰と昨年の中央審査・連合審査にて昇段・昇格された方々の演武が行われました。その後参加者103名による一手2回の射初めを行いました。支部対抗戦の結果は以下の通りです。

- 1位:奈良支部(26中)
- 2位:橿原支部(25中)
- 3位:五條支部(19中)
- 4位:郡山支部、錬弓会支部、布目・石打・生駒・香芝合同チーム(17中)

2023年度 年間表彰者

選手の皆様、おめでとうございます!

- ・第68回全国高等学校弓道大会(北海道札幌市)
女子個人 5位 廣谷萌音(郡山高)
- ・第20回全国中学生弓道大会(東京都渋谷区)
男子個人 優勝 松村寿洗(八木中)
女子個人 5位 大内真琴(橿原中)

縦と表彰状が西中会長より手渡されました。
(事務局)

【昇段昇格者】

- ◎五段昇段者 岡本 修 (奈良)
清水 美千代 (郡山)
- ◎錬士昇格者 遊田 博之 (郡山)
西川 建一 (蒼穹会)
辻本 元威 (蒼穹会)
鷺尾 佐和子 (錬弓会)
八木 純子 (錬弓会)
榎田 容子 (檀原)
- ◎六段昇段者 中山 誠一郎 (奈良)
坂本 美智子 (奈良)
高橋 悟史 (郡山)
- ◎教士昇格者 綿松 昭寛 (檀原)
白井 礼子 (錬弓会)



昇段・昇格者の演武
(競技部 衛藤 博史)

**令和5年度第3回地連審査(檀原)
審査受審の心構えの向上を目指して**

12月17日(日)檀原公苑弓道場に於いて、審査会が行われました。冬本番の冷たい風が吹き、厳しい寒さの中での審査会でしたので、審査員長をはじめ審査員の先生方、運営進行等お世話いただいた担当支部の皆様にお礼申し上げます。

昇段・昇格おめでとうございます

12月地連審査会・特別臨時中央審査において次の方々が昇段・昇格されました。

(12月17日開催 檀原公苑弓道場)

四段

小山 淳子さん (郡山支部)

(12月23日・24日開催

全日本弓道連盟中央道場)

錬士

榎田 容子さん (檀原支部)

中山 誠一郎さん (奈良支部)

教士

白井 礼子さん (錬弓会支部)

開会式からの矢渡しと一部通常開催となる中、受審者の受付と行射時間は事前に開示している日程表にもなって進行していましたが、思いのほか予定より進行が早くなり、最終審査、四段の部では受審者1名が会場に不在の事態になり、開始時間を延ばす事となりました。

日程表の注意書きには、「進行具合によって行射審査の時間が早まる場合があります」との記述がありますが、時間調整の告知が不十分であったので、今後改善していきたいと思います。

寒い中での待ち時間で受審者の方々へはかなりご負担をおかけしましたが、受審者も審査を受けられる心構えを習得されますようお願い申し上げます。

12月の審査結果は次の通りです。

・第3回地連審査(檀原)

級位	受審者	47名		
1級査定	36名		2級査定	8名
3級査定	1名		現級	2名
初段	受審者 30名		合格者	22名
弐段	受審者 26名		合格者	24名
参段	受審者 18名		合格者	3名
四段	受審者 19名		合格者	1名
以上				

(審査部 奥戸 由美)

大和神社御弓始祭

五穀豊穡・天下太平を祈る伝統行事

新春恒例の天理市の大和（おおやまと）神社の御弓始祭が1月4日（木）に行われました。この行事は、奈良県弓道連盟・奈良菱友会（小笠原門人会）が奉仕しており、お宮の伝統行事として広く知られております。当日は心配された天候も持ち直し、神事後、五穀豊穡・天下太平を祈り奉射が行われました。



五月雨式に矢を放つ

最初に、的皮にすべての魔・邪気を集め、それらの魔を鏑矢の音で祓うという「墓目の儀」が執行されました。新司正人さんが射手を務め、厳かな雰囲気の中、「ヒュー」という矢音が響き、場が清められました。続いて、宮司が一手を引かれ、年預さんと呼ばれるお宮の役員さんが4名、袴の衣装で一手ずつ大的に向かい矢を放たれ、的裏に潜む魔性退散に努められました。その後、天理南中学校の弓道部員の13名が、3人または2人ずつ大的に向かい的中を重ね、家族や学校関係者から大きな声援を受けながら無事執行されました。

百手式をはじめ古式弓道は、足さばきなど現在弓道と異なるところも多く、すぐに出来るとは限りません。射手を務めるには、場の流れ、所作の方法等経験が必要になってきます。参加することで、伝統が次の世代



に引き継がれていきます。興味のある方は、是非参加していただき、伝統行事を引き継いでいただきたいと思います。（顧問 深田 紀美子）

五條弓友会新年射初会

仲間と楽しく弓を引ける喜びを感じて

1月3日（水）、五條大畑道場において、五條弓友会の新年射初会が行われました。西中先生、上田先生、中島先生による持ち的射礼、参加者による審査の間合いでの一手行射の後、会員のお子さん作による絵的や得点がかかれた的などで点数を競いました。



先生方による持ち的射礼



新年にふさわしい絵柄的

得点がかかれた的以外にも、弓道に関する言葉「正射必中」「真善美」「至誠」がかかれた的も用意されました。これは的中した漢字の画数そのまま得点となり、緊張の中にも盛り上がる要素が取り入れられた面白い企画でした。

持ち的射礼の張りつめた空気から始まり、ゲーム性のある企画で楽しい雰囲気もあり、あっという間に時間が過ぎていました。

冒頭に西中先生から「楽しく弓を引きましょう。」とのこととお言葉があった通り、参加者の皆さんと楽しい時間を過ごすことができ、新年を祝うに相応しい会となりました。五條支部は決して人数が多いとは言えない支部



ですが、共に弓を引く仲間との関わりを大切にしながら活動していきたいと思えます。

(五條支部 中西 省五)

奈良市 寒稽古

寒さに負けず思いを込めて

1月13日(土)、14日(日)奈良市弓道協会が活動する鴻池運動公園で毎年恒例の寒稽古が行われました。柔道、剣道、なぎなた等、総合開会式の後それぞれの



道場で鍛錬します。まだ夜明け前の5時30分集合。6時開会式。寒いし暗いし眠いし……。それでも初日18名、2日目は22名とたくさんの方が集まりました。段位関係なく立を組ん

で。少しずつ白んでくる景色。明るくなる直前にぐっと寒さが来るのがわかります。今年はより一層今この瞬間に弓が引けることに感謝します。



早朝の冷たい空気を感じながら

(奈良支部 松澤 和実)

県連の的貼り

1月13日(土)、20名ほどの方が集まった的貼りをしてくださいました。冷たい水で枠を洗い、一枚一枚丁寧に糊を塗り、少しだけ時間を置いて貼る、を繰り返します。紙的は茶紙2枚との紙1枚を貼った後、横から細く切った紙を貼り、乾かします。手間のかかる仕事で、紙もたくさん切っておかないといけません。綺麗に中心を取り、皺が寄らないようにハケで延ばす。かなりの強風で的が転がることもしばしばでした。皆様本当にありがとうございました。



次々との的が出来上がっていく



的が54個並びました!

編 | 集 | 後 | 記

新たな年が始まりました。能登半島地震という衝撃的な出来事においては、輪島市で中学生の集団避難が実施されるなど、先が見通せない状況が続いています。人々が集い弓を引く、そんな当たり前のことを変わらずにお伝えできていることは有難いことです。本年も本紙を通じて皆さんの活動を共有していきたいと思えます。(編集担当 中西 省五)